



2021年12月6日

各位

会社名 住友理工株式会社  
代表者名 執行役員社長 清水 和志  
(コード: 5191、東証・名証第1部)  
問合せ先 法務部長兼広報 IR 部長 日比野 伸哉  
(TEL. 052-571-0280)

## 新市場区分におけるプライム市場選択の決定および 新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書について

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しについて、本日開催の取締役会において、プライム市場を選択することを決議し、同取引所に申請書を提出いたしました。

また、当社は同市場区分の上場維持基準のうち、「流通株式比率」を充たしていないため、以下のとおり基準の適合に向けた計画をお知らせいたします。

記

### 1. 上場維持基準への適合状況

|          | 当社の状況<br>(以降基準日時点) | 上場維持基準            | 計画書に記載の項目 |
|----------|--------------------|-------------------|-----------|
| 株主数      | 6,355人             | 800人以上            |           |
| 流通株式数    | 316,009単位          | 20,000単位以上        |           |
| 流通株式時価総額 | 22,587,960,146円    | 10,000,000,000円以上 |           |
| 流通株式比率   | 30.3%              | 35%以上             | ○         |
| 1日平均売買代金 | 108,553,028円       | 20,000,000円以上     |           |

### 2. 取組の基本方針、課題、取組内容および計画期間

#### (1) 基本方針

当社グループは、「信用確実」「不趨浮利」を謳う「住友事業精神」に基づき、SDGsなどに代表される社会課題に対し、技術革新を通じて解決を図る企業価値（財務目標）と公益価値（非財務目標）を同時に向上させることで、新たな社会的価値を創造し、社会とともに持続的に成長する、“Global Excellent Manufacturing Company”であり続けることを目指しています。

当社グループではこの実現のため、中期経営ビジョン「2022年住友理工グループ Vision (2022V)」を策定し、その取り組みを進めています。具体的には、「新事業・新規顧客創出」「モノづくり革新」「グローバル経営基盤強化」の3つの経営戦略のもと、当社グループのコアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を駆使し、既存事業のさらなる成長はもちろんのこと、新たな価値を持つ製品や材料の研究・開発に取り組み、そこから生まれる製品とサービスを、「自動車(モビリティ)」「インフラ・住環境」「エレクトロニクス」「ヘルスケア」の4つの分野に拡大させ、新たな社会的価値の創造につなげていくこととしています。

当社が引き続き、多くのグローバルな機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額（流動

性) を持ち、より高いガバナンス水準を備え、投資家をはじめとするすべてのステークホルダーとの建設的な対話を中心に据えて、中長期的な企業価値および公益価値の向上にコミットし、持続的に成長してゆくことができるための市場、すなわち、当社がプライム市場への上場を維持することは、当社グループの企業価値、公益価値のそれぞれの向上、ひいては、当社グループの中長期にわたる社会的価値の向上にとって、極めて重要であると認識しております。

## (2) 課題、取組内容および計画期間

当社としては、プライム市場の基準項目の一つである「流通株式比率 35%以上」の達成に向けて、当社創業当初からの歴史的経緯や関係性、事業等に与える影響等を慎重かつ十分に踏まえた上で、投資家の皆さまとの建設的な対話を中心に、課題や解決策等を総合的に検討し、2025年3月末を一つの目途として、必要な改善を進めてまいります。また、一方で、少数株主保護の観点でのガバナンスの一段の強化など、様々な観点での改善の検討も併せて継続してまいります。なお、取組内容の詳細については、検討の状況等を踏まえて、順次開示していく予定です。

以 上